光が丘

学校教育目標

求めて学ぶ子ども

大津市立晴嵐小学校
学校だより１２月号
在籍児童　９０３名
令和４年１１月３０日

11/10　6年修学旅行
鳥羽水族館で班行動

朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。今年も残すところあと１ヶ月、冬本番を迎えようとしています。12月は、学習や活動のまとめをしながら、子どもたち自身が達成できたことや成長できたことを確かめ、「まだもう少し」ということに集中して取り組んでいく月です。子どもたちが、今、どんな学習や活動に取り組んでいるのか、また、どんなことに自分の成長を感じているのか、意識して声かけをしながら、子どもの頑張りを、「認めて」「ほめて」「励まして」いただければと思います。

気候が寒くなるのに合わせるように、コロナ感染が増えてきています。また、12月5日からは、仮校舎建設の工事スペースを設置するために、運動場に仮囲いが建ち始めます。子ども達の健康を守ること、事故がないように子ども達の安全を確保することに留意しながら今後の教育活動を行わなければなりません。そのために学校生活上の対策や子ども達への指導をしっかりと行っていきたいと考えています。保護者の皆様にも、様々な形でお願いすることが出てくるかと思います。子ども達の安心・安全のため、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

自分を大切に・友だちを大切に

本校では、子ども達の人権感覚を磨き高めるために、１１月７日から１８日までを人権週間として、全学年で人権教育の取組を行いました。それぞれの学年で人権学習を行い、人権作品づくりにも取り組みました。人権作品づくりの中で、子ども達が作成した人権標語を紹介します。

○大丈夫　みんながいれば　一人じゃない
○思いやり　優しい心　自分から
○「たった」じゃない　その一言が　刃物になる
○「助けて」と　求めるその声　大切だ
○とく名で　傷つけ合うの　やめようよ
○人間は　それぞれ持ってる　とくちょうを
○あいさつや　やさしい言葉　うれしいな
○優しさは　自然に出るよ　行動に

学校という集団生活の場では、どうしても子ども同士のトラブルは起こってしまいます。しかし、どの子も、本心では友だちと互いに認め合って仲良くしたいという願いを持っています。トラブルが起こった時には、子ども達が人権学習で学んだことを思い出し、自分のことも相手のことも大切に考えられるように指導し、見守り支えていきたいと考えています。